

# ◇丹後大学駅伝 第82回関西学生対校駅伝競走大会◇

2020年11月14日(土) 京丹後地域コース 7区間 71.6km

## 【総合順位】

順位	大学名	記録	順位	大学名	順位
1	立命館大	3:34:32	11	神戸大	3:51:32
2	関西学院大	3:38:14	12	佛教大	3:52:37
3	びわこ学院大	3:40:25	13	大阪大	3:53:47
4	京都大	3:42:55	14	大阪学院大	3:54:26
5	京都産業大	3:43:08	15	兵庫県立大	4:05:07
6	大阪経済大	3:44:12			
7	関西大	3:45:00			
8	龍谷大	3:47:17			
9	近畿大	3:49:10			
10	大阪体育大	3:51:22			

## 【区間成績】

区間	距離	氏名(学年)	通過記録	順位	区間記録	順位
1区	9.0km	佐久間啓(5)	28'11"	5	28'11"	5
2区	7.7km	平井大誠(M1)	54'44"	11	26'33"	13
3区	7.0km	篠原直生(1)	1°15'31"	8	20'47"	8
4区	9.8km	矢田絢介(4)	1°48'23"	10	32'52"	12
5区	12.3km	若江亮平(3)	2°26'41"	10	38'18"	11
6区	13.3km	佐々木太一(1)	3°10'40"	12	43'59"	12
7区	12.5km	松井悠真(4)	3°51'32"	11	40'52"	12
総合	71.6km	神戸大学	3°51'32"	11	-	-

今大会は京丹後はごろも陸上競技場の完成を記念しゴールを同競技場としたため、従来の8区間を7区間に変更して開催された。

## 丹後駅伝を振り返って

### 駅伝主将：田上雄士

朝早くからリモートでの応援や現地での補助員等、ありがとうございました。まずは区間配置について触れたいと思います。駅伝選考にて上位だった佐久間(5)・佐々木(1)・若江(3)の3名を1区・5区・6区と考え、特に例年スピード勝負になり絶対に出遅れたくない1区に今季5000m1番手の佐久間を起用。そして各校エースが集まる5区に今までの実績や安定感のある若江、6区に選考で実力を十分に発揮した佐々木を起用しました。次に平井(M1)・松井(4)ですが、これまでに走った経験や実績をもとに2区に坂道に強い平井、新コースの7区に繰り上げスタートになっても各校と渡り合える松井を起用しました。次に矢田(4)・篠原(1)ですが3区か4区どちらに配置するかで悩みました。しかし3区ではまだ混戦になっていると予想し、その中で勝ち抜く力を持つミドル出身の篠原を3区に、そして最近調子が上がっていた矢田を4区に起用しました。

当日は1区がスローペースの展開になったことで体力を温存でき、スパートをかけ中継所を5位という好順位でたすきリレー、2区で順位は落としたものの、3区が予想通り混戦になったことで篠原の走りが生きて3区まで想定通りの展開でした。それ以降も各選手は区間12位以内でおさめていたのですが、4区以降他大の追い上げや繰り上げによる見かけ順位等で、どの大学とシード権争いをしているのか、そして差がどれほどなのかの整理が間に合わず、最終7区に情報を伝えることができませんでした。「どの大学を意識すればいい」と伝えることができなければ結果はどうなっていたのか、実際は惜しくも10秒という差でシード権を逃す形となってしまい、チームとして悔しい結果に終わりました。しかし、今までは10位以内で争うことさえ厳しい状況だったため、今回の順位は各選手の尽力があつてこそもたらされた結果だと思います。シード圏内の大学、特に最後まで争っていた近畿大学、大阪体育大学と比べて何が足りなかったのか分析すると、区間10位以内に入った選手の数で差をつけられていました。神戸大は絶対エースを持たず総合力で戦うというのが最近の動向です。今回の結果を踏まえ、やはり各校のエース、準エースと渡り合える選手が必要だと感じました。来年に向け、チーム全体の力をさらに高めることはもちろん、区間10位以内を取る力を持つ選手を半数の区間で投入できることが、シード権獲得に必須だと考えます。今後の課題が多いですが、選考において良い面も見つけられました。今年は1区間減少してメンバー争いが熾烈になり、誰もが緊張感を持って選考に望んだことで、上位7名のボーダーラインが去年よりも格段に上がりました。この結果が今回の順位につながったことに関連性はあると思います。激しいメンバー争いがチームのレベルアップにつながることを感じたからこそ、「競争心」を1つのテーマに冬季練に取り組み、来シーズン目標達成に向け努力していきます。



【上段 左から】平井 佐久間 松井 矢田 山本 谷垣 若江  
 【下段 左から】三宅 岩佐 細見 田上 佐々木 横谷 藤原

## ～選手より～

### 1区:佐久間 啓(5)

個人的に苦手意識のある1区でしたが、区間5位と自分の力を発揮でき嬉しく思います。コロナ禍によって自分の時間が確保できたこともあり、心身ともに大学で最も充実した状態で臨むことができました。全体の結果は大変悔しいものでしたが、この5年で一番実力のあるメンバーとともにここまで戦えたことはとても幸運でした。応援サポート等ありがとうございました。



### 2区:平井 大誠(M1)

二区を走らせていただきました平井です。一区の佐久間がいい位置で纏つないでくれ、落ち着いて走ることを心がけました。シード権に届かず悔しいです。応援していただいたOBの皆様ありがとうございました。

### 3区:篠原 直生(1)

今年が初の丹後駅伝出場ということで緊張と不安がある中でのレースとなりましたが、結果的にチームに迷惑をかけない走りができただことは自分にとっても自信にしたいと思います。来年以降は重要区間を任せ



られるような選手になってまた丹後の地に帰って来たいと思います。ご声援ありがとうございました。

#### 4区:矢田 絢介(4)

目標であったシード権獲得を目の前にしながらも届かなかったことがただただ悔しいです。しかし、今までになくチームとしての成長を感じたことも事実で、私たちにもできるんだ、ということを実感しました。応援、サポート等とても励みになりました。ありがとうございました。



#### 5区:若江 亮平(3)

昨年と同じく単独走となり厳しい展開でしたが、コンディションもよく最後まで走り抜けることができました。全体の結果としては非常に悔しいものであり、あそこでペースが落ちなければと後悔もありますが、今の自分にできる最大限の走りだったと思います。今年の経験を生かし来年こそはチームをシード権獲得に導ける選手へと成長します。このような大変な状況の中、関西学生駅伝が開催され出場できたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。応援ありがとうございました。



#### 6区:佐々木 太一(1)

シード権内の良い流れでしたが自分の区間で順位を落としてしまい、自分には他校の主力となる選手と渡り合える力が無いことを痛感しました。来年の丹後駅伝では安心して長距離区間を任せられる選手となれるよう冬季の練習に励んで参ります。応援ありがとうございました。



#### 7区:松井 悠真(4)

応援ありがとうございました。来年こそは後輩たちが目標達成してくれると信じています。頑張ってください。



#### <ライブ配信>

今大会はコロナ禍の中無観客で開催されましたので読売テレビあすリートチャンネルよりライブ配信されました。

当日ご覧いただけなかった皆さまは下記URLよりご覧下さい。

<https://www.youtube.com/watch?v=WeLJ1SuT120&t=11155s>